

迅速出動・部隊進出・通信運用訓練風景

今回の訓練では、九州各県の緊急消防援助隊208隊767名が参加し、被災地を想定した各訓練会場へ出動しました。

九州各県から出動した緊急消防援助隊が被災地へ進出する場合の拠点（進出拠点）として、管内では、島原市（復興アリーナ付近、長崎県島原病院）雲仙市（県立百花台公園、多比良港）を使用しました。進出拠点から訓練会場までは、道路不案内な他県の消防隊の誘導役として、雲仙市消防団、島原市消防団が先導しました。

また、部隊の進出には、海路（フェリー）での移動も検証し、島原港、多比良港もそれぞれ進出ルートとなりました。

進出拠点の状況（雲仙市 県立百花台公園）



進出後のメイン会場

